

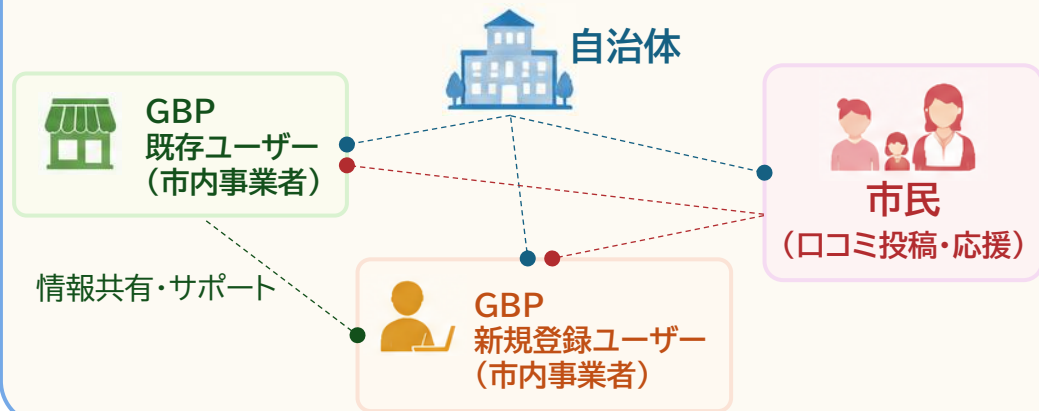
市内全体で取組むGBP活用推進の考え方(3か年想定)

なぜ市内全体で取組むのか

- 自治体からの呼びかけだけでは、どうしても支援が届かない事業者が存在する。
- そのため、市内事業者同士のコミュニティや日頃のつながりも活かしながら、地域全体でGBPの活用を広げていきたい。

目指す姿

行政だけでなく、市内全体で活用を支える仕組みづくり



3か年のロードマップ(案)

1年目 (基礎づくり)

2年目 (利用拡大)

3年目 (地域への定着)



GBP
既存ユーザー
(市内事業者)

活用促進・成功事例の創出

- 既存ユーザーの積極的な活用を促進
- 成功事例の共有、ノウハウの蓄積



GBP
新規登録ユーザー
(市内事業者)

—
(準備期間)

継続活用・横展開

- 事例共有や勉強会の実施
- 他事業者への横展開を推進

登録・活用セミナーの実施

- 新規登録者向けのセミナー・相談会
- 心理的ハードルや負担を軽減



市民

—
(準備期間)

コミュニティ形成

- 事業者同士のつながり強化
- システム活用の文化を醸成

継続支援

- 個別サポート・フォローアップ
- 活用定着に向けた伴走支援

市民参加型施策の定着

- 市民を巻き込んだ施策を展開
- 地域の魅力発信・活性化に貢献
- システムの認知拡大・利用促進

1年目の成果が2年目以降の成果を左右します。

既存ユーザーの活用が進むことで、市内にシステム活用のノウハウを持つ事業者が増え、新規登録ユーザーの心理的ハードルや負担を軽減できます。



まずは既存ユーザーの皆様に積極的なご参画・ご協力をお願いしたいと考えています。